7/18(日)に日立一高との3回戦を迎えました。

水戸一　003 001 000　4
日立一　000 002 000　2

先発は今大会初登板のエース・石井(3年)でした。立ち上がりが心配されましたが、自己最速の140キロを計測するなど相手打者を圧倒し、三者凡退の上々のスタートでした。試合は3回に動きます。2アウト1,2塁から5番檜山(3年)が、人生初のホームラン(大会17号)を放ち3点を先制。6回には、2アウト3塁から1番中村(2年)のタイムリー2ベースで加点し、4-0とリードを広げました。これで主導権を握ったかに見えたその裏、日立一高の反撃に遭います。2アウト1,3塁から機動力で揺さぶられ1点を返されると、タイムリーヒットも飛び出し2点差に詰め寄られます。その後は、毎回のように得点圏に走者を進められる苦しい展開となりましたが、バッテリーを中心に何とか凌ぎ、最終回を迎えました。この回も、四球をきっかけに1アウト1,3塁と一打同点の大ピンチとなります。脳裏には春季大会の準決勝、あとアウト2つで関東大会という状況から逆転負けを喫した常磐大高戦の悪夢がよぎりましたが、3番打者をダブルプレーに仕留め、4-2で勝利しました。

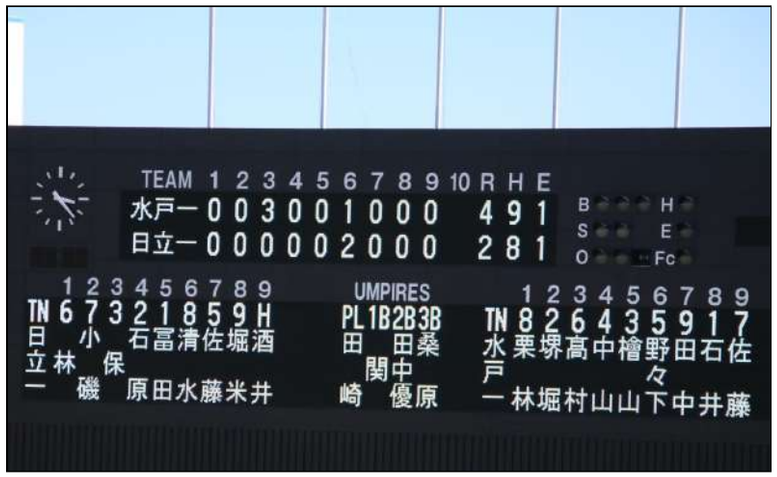
この試合には、たくさんの先生方、生徒の皆さん、OB・OGの方々が球場に駆け付けてくださいました。檜山(3年)の打球がライトスタンドまで届いたこと、最後にダブルプレーで逃げ切れたことは、間違いなく応援に来てくださった皆さんの声援の後押しのおかげです。本当にありがとうございました。

▼試合前のシートノックから気持ちを盛り上げていきます。

▼初登板のエース・石井(3年)

▼先制3ランHRの檜山(3年)

▼タイムリー２ベースを放った中村(2年)

▼ゲームセットの瞬間。

▼後半は苦しい展開が続きましたが、４回戦進出！